

令和4年第5回占冠村コミュニティ・スクール議会会議録（第1号）

令和4年11月4日（金曜日）

○議事日程

議長開会宣言（午後2時30分）

日程第 1 会議録署名議員の指名について（熊崎 莉子君、下川 冬翔君）

日程第 2 会期決定について

諸般報告

日程第 3 意見報告

講評

○出席議員（29人）

（占冠中学校）

3年 阿部 彩花 君

3年 奥田 紗帆 君

3年 高橋 聡美 君

3年 伊達 結月 君

3年 八木 翔琉 君

3年 ルックス 授那 君

事務局長 2年 石坂 佑都 君

2年 石塚 葵 君

2年 蠣崎 蒼空 君

2年 神田 柊斗 君

2年 熊崎 莉子 君

2年 小瀬 綺乃 君

議長 2年 佐々木 琉翔 君

2年 千葉 朗磨 君

書記 2年 森田 真央 君

1年 杉岡 那奈 君

1年 鈴木 楊生 君

1年 中本 帆香 君

1年 八木 瑛音 君

1年 渡辺 竣介 君

（トマム学校） 副議長 9年 藤本 このはな 君

8年 下川 冬翔 君

8年 仙石 桜子 君

7年 神部 爽椰 君

7年 藤本 日々 君

（村議会議員）

児玉 眞澄 君

大谷 元江 君

藤岡 幸次 君

五十嵐 正雄 君

細谷 誠 君

下川 園子 君

小林 潤 君

○欠席議員（0人）

○特別顧問

村長 田中正治 君 副村長 松永英敬 君

教育長 多田淳史 君

○出席村議会事務局職員

事務局長 岡崎 至可

事務補 三ツ谷 陸翔

開会 午後2時30分

◎村民憲章

〇CS事務局長（石坂佑都君） 事務局長の占冠中学校2年、石坂佑都です。よろしくお願ひします。

起立、礼。村民憲章を朗読します。私の後に続いでください。

ひとつ、健康で、しあわせな家庭をつくりましょう。

ひとつ、自然を愛し、美しい環境をつくりましょう。

ひとつ、きまりを守り、明るいまちをつくりましょう。

ひとつ、生産を高め、活気ある社会をつくりましょう。

ひとつ、文化を育て、豊かな郷土をつくりましょう。

お座りください。

◎あいさつ

〇CS議長（佐々木琉翔君） 本日の議事進行を進めさせていただきますコミュニティ・スクール議会議長、占冠中学校2年、佐々木琉翔です。よろしくお願ひいたします。

また、議長においてCS議会副議長にトマム学校9年、藤本このはな君。CS議会書記に占冠中学校2年、森田真央君を指名いたします。あわせてよろしくお願ひします。

◎特別顧問紹介

〇CS議長（佐々木琉翔君） 今、CS議会において、特別顧問として占冠村3役の方にご参加していただいておりますので、お名前をご紹介します。

占冠村長、田中正治君。

〇村長（田中正治君） どうぞよろしくお願

ひします。

〇CS議長（佐々木琉翔君） 占冠村副村長、松永英敬君。

〇副村長（松永英敬君） 松永です。よろしくお願ひします。

〇CS議長（佐々木琉翔君） 占冠村教育委員会教育長、多田淳史君。

〇教育長（多田淳史君） 多田でございます。よろしくお願ひいたします。

〇CS議長（佐々木琉翔君） 本日は、お忙しい中ご参加いただき誠にありがとうございます。

〇CS議長（佐々木琉翔君） 開会にあたり、占冠村議会議員から代表して、大谷副議長より一言挨拶をいただきます。

大谷村議会副議長。

〇村議会副議長（大谷元江君） ただいま紹介に与りました、占冠村村議会副議長をしております大谷と申します。よろしくお願ひいたします。

一言ご挨拶いたします。CS議会の議員の皆さん、今日はようこそ占冠村議会にお越しくださりありがとうございます。村は6月にゼロカーボン宣言を行いまして、それ以降CS議会をどのようにしていくかということで、議員と皆さんと学校の先生方と打ち合わせをさせていただき、5回協議をしました。その中で一般廃棄物処分場を皆さんと見学させていただき、それでゴミ減量化ということを基本にこの議会を進めさせていただくということで、ワークショップ等をさせていただきました。皆さんの忌憚のない意見をいただいて、議会に生かして行けたらなと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

〇CS議長（佐々木琉翔君） 大谷村議会副議長ありがとうございました。

◎開会宣言

〇CS議長（佐々木琉翔君） 早速ですが、CS議会を開催します。

ただいまの出席議員は32名です。令和4年第5回占冠村コミュニティ・スクール議会を開会します。

◎日程第1 会議録署名議員の指名について

〇CS議長（佐々木琉翔君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

CS議会の会議録署名議員は、議長において、熊崎莉子君、下川冬翔君を指名します。

よろしくお願いいたします。

◎日程第2 会期決定について

〇CS議長（佐々木琉翔君） 日程第2、会期の決定の件を議題とします。

お諮りします。

本、CS議会の会期は本日、11月4日の1日間としたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

〇CS議長（佐々木琉翔君） 異議なしと認めます。

したがって、会期は本日、11月4日の1日間と決定しました。

◎諸般報告

〇CS議長（佐々木琉翔君） これから諸般の報告を行います。石坂事務局長。

〇CS事務局長（石坂佑都君）

お配りしております審議資料の裏面をご覧ください。読み上げてご報告いたします。

出席できるCS議会議員は、占冠中学校3年、阿部彩花君、以下記載のとおりです。

今期、CS議会議員の動向は、6月6日、村議会議員、今期CS議会の取組基本方針を検討

しました。

6月27日、占冠中学校、トマム学校、村議会議員で取り組み内容の協議を行いました。

10月17日、占冠中学校、トマム学校、村議会議員による一般廃棄物最終処分場見学を行いました。

10月19日、トマム学校、最終処分場見学を受けて、気づき、感想をまとめ、発表の役割分担を行いました。

10月28日、トマム学校でグループワークを実施。同日、占冠中学校でもグループワークを実施しています。

また、昨年開催しましたSDGsをテーマに取り組んだコミュニティ・スクール議会についてですが、全国の優れた取り組みを表彰する、第17回マニュフェスト大賞で3133件の応募の中から優秀賞候補の一つとして選定され、北海道からは10件の選抜となりました。惜しくも優秀賞には届かなかったものの、CS議会の実践が全国の皆さんに広く知ってもらうことができました。

以上、ご報告いたします。

〇CS議長（佐々木琉翔君） これで諸般の報告を終わります。

◎日程第3 意見発表

〇CS議長（佐々木琉翔君） 日程第3、これから10月28日、トマム学校、占冠中学校で開催したグループワークの意見報告を行います。

村議会議員と生徒がそれぞれグループをつくり、廃棄物処理の現状や今後の課題について話し合いを行ってききましたので、その内容、意見等の発表をお願いします。

順番に発言を許します。

◎トマム学校

○CS議長（佐々木琉翔君） 始めにトママ学校からお願いします。

まず、村議会議員の細谷議員から一言お願いします。

○村議会議員（細谷 誠君） トママ学校グループ発表前の応援メッセージを送ります。

占冠村の一般廃棄物処分場とゴミの問題に対し、最終処分場見学から感じたこと、そこから問題点、課題の抽出を行い、深く掘り下げ、他の町との比較や調査分析をし、解決策と提案を導き出しています。素晴らしいです。また、今後自分たちが取り組むべきことも明確にしています。自然豊かな美しい占冠のためにゼロカーボン、SDGs目標達成にむけ、広めよう、伝えよう、一緒にやろう、ポジティブにいこう。以上で終わります。

○CS議長（佐々木琉翔君） 細谷議員ありがとうございました。引き続きトママ学校お願いします。

○CS議員（藤本このはな君） これからトママ学校の発表を始めます。発表のタイトルは、占冠村の光と影です。

占冠村は、豊かな自然や[]等が有名ですが、その裏では、ゴミという大きな問題を抱えています。まず始めに最終処分場の見学を通して気づいたことや思ったことを一人一人簡単に発表します。

○CS議員（藤本日々君） 私は、匂いから生ゴミがあるのだなと思いました。また、もらった資料からゴミ排出量のうち、思ったより生ゴミの割合が多いと感じました。

○CS議員（下川冬翔君） 私は、埋め立てる場所がなくなって増設しなければいけない前に、もっと対策ができていれば良かったのなと思いました。また、ホテルのゴミが多くあり、リゾートの影響も大きいと感じました。

○CS議員（仙石桜子君） 私は、思ったよりもハエはいないと思いましたが、洗われていないマヨネーズ容器が落ちている等、分別されていなかったり、洗われていないものが多く捨てられていたのが気になりました。

○CS議員（藤本このはな君） 私は、ホテルのスリッパやミニ歯磨き粉等、ホテルのゴミが多かったと思いました。また、カラスが思っていたよりも2倍ぐらい多くいました。

○CS議員（神部爽椰君） 処分場はとても臭かったです。生ゴミが多くあるのだと思いました。また、プラスチックのゴミがとても多くあると思いました。

○CS議員（藤本このはな君） 私たちは、最終処分場の見学を通して、気づいたことや思ったことをもとに、3つのテーマでゴミ問題を考えました。

1つ目は、生ゴミの分別マナーについて。

2つ目は、[]について。

3つ目は、プラスチックゴミの分別についてです。

○CS議員（神部爽椰君） 始めに、生ゴミの分別マナーについてです。事前資料として読んだ広報占冠の記事にもあるとおり、生ゴミから発生する悪臭により、処分場に大量のカラスが来てしまい、ゴミが散乱する原因になっています。実際に埋立てゴミの日に、生ゴミが透明な袋に入れられて捨てられているのを目にすることがあります。どうすれば良いかを話し合いましたが、マナーに関わることはとても難しいと感じました。私たちにできることとして、ゴミステーションに、ゴミ捨てマナーのポスターを掲示するという意見が出ました。村民一人一人がルールとマナーを守れるようになってもらいたいと思います。

○CS議員（藤本日々君） 次に[]

■についてです。最終処分場には、スリッパやアメニティ等、■から出たと思われるゴミが多く見つかりました。処分場見学資料にもありましたが、占冠では新型コロナウイルスが北海道で爆発的に拡大した令和2年にゴミの量が大幅に減少しています。これは、■の来泊者数の減少と関係があると考えられます。よって■でのゴミの削減が、最終処分場の延命に繋がるのではないかと私は思います。ホームページ等を調べたところ、■ではゴミを減少させるためにシャンプー等を個包装からボトルに変えたり、歯ブラシのリサイクルを行ったり、各部屋の水のペットボトルを廃止してウォーターサーバーに変える等の取り組みを行っています。その上で、どうしたらホテルのゴミを減らせるのかを話し合いました。そこで挙げられたのが、客室でしっかりとゴミを分別してもらうことです。一般的にホテルの部屋にはゴミ箱が一つしかなく、分別したくても、し難い状況になっています。そこで、各部屋に分別できるようにゴミ箱を複数個設置してもらえたら良いと思いました。また、ホテル側からも、分別にご協力ください、ということをお客さんに伝えてほしいと思います。

OC S 議員（藤本このはな君） 次に、プラスチックゴミの分別についてです。最終処分場にはプラスチックのゴミが多くありました。これらをリサイクルすることができれば、今よりも埋立てゴミを削減することができます。どうすれば良いかを話し合っていく中で重要だったのが、どの程度の汚れから埋立てにするのか、ということです。私たちは、汚れていないものはプラゴミ、汚れていても洗ってきれいになるならプラゴミ、汚れていてきれいにならないものは埋立てゴミにするという

認識です。私たちの中では、少しでも汚れていたら埋立てゴミにしなければいけないのか、どの程度の汚れから埋立てゴミにするのか、という基準があいまいです。この基準が明確であれば分別がし易くなると思います。例えば札幌市はホームページで写真で分かりやすく説明してくれています。札幌市では固形物さえついていなければ油污れがあってもプラゴミとして回収できるとしています。また、チューブ類は中身を使い切るだけで大丈夫とのことです。実際に工場でリサイクルする過程で細かく砕いてから洗浄しているので問題ないということだと思われます。このように占冠村でもホームページ等で、これくらいの汚れであればプラゴミにできます、という基準を、例を挙げてわかりやすく示してもらえると、私たちも多くのゴミをプラゴミとして分別できると思います。

OC S 議員（下川冬翔君） プラスチックゴミの分別に関わって、もう一つ重要だったことがあります。それは、ゴミ袋についてです。占冠村では埋立てゴミの袋は無料の透明な袋で、それ以外のプラゴミやペットボトル等のゴミ袋は有料になっています。私たちは逆の方が良いと考えています。減らしたい埋立てゴミの袋が無料で、分別して増やしたいプラゴミの袋が有料というのはおかしいと思いませんか。例えば、札幌市、旭川市、帯広市は占冠村の埋立てゴミに当たる燃えるゴミと燃えないゴミの袋が有料になっていて、リサイクルできるプラスチックやペットボトル、空き缶等は、全て無料の透明な袋になっています。このように、占冠村も減らしたい埋立てゴミの袋を有料にして、リサイクルできるプラスチックのゴミ袋を無料にするべきだと思います。そうすれば自然とプラスチックを分別しようという流れになると思います。

OC S 議員（仙石桜子君） 最後にゴミを減らすための取り組みとして、他の都市が行っているものを調べましたので紹介します。東京の新宿区では未利用食品を持ち寄り、地域の福祉団体やフードバンク等を通じて、必要とする人々に無償で提供している活動を行っています。これは、占冠村でも生ゴミを減らすのに効果的だと思います。また、大阪市では、ゴミ減量や3Rのことが楽しく学べるイベントを行っています。占冠村でもこのようなイベントを行うことで、分別のルールやマナーについての確認ができると思います。

では、まとめです。まず、政策としてお願いしたことが4つあります。

1つ目は、XXXXXXXXXXと連携したゴミ削減の取り組みです。ホテル内での分別を徹底してほしいです。

2つ目は、汚れ具合によるプラゴミの分別基準です。ホームページ等に写真付きで示してもらえるとわかりやすいです。

3つ目は、埋立てゴミ袋の有料化とリサイクルできるゴミ袋の無料化です。急には難しいと思いますがご検討ください。

4つ目は、分別のルールやマナーについての確認するイベントの実施です。村全体でルールやマナーを確認できたら良いと思います。よろしくお願いします。

そして、私たちが取り組みたいことは3つあります。

1つ目は、家や学校での分別の徹底です。できるところからしっかりと取り組んでいきたいと思います。

2つ目は、ゴミ捨てマナーのポスター作成です。外国の人も多いので、わかりやすいポスターを作りたいです。

3つ目は、分別のルールやマナーについての確認するイベントへの参加です。積極的に

参加して協力していきたいと思います。

OC S 議員（藤本このはな君） このCS議会に向けての活動の中で最終処分場の見学という、とても貴重な体験をさせていただきました。また、調べ学習や話し合いを通じて、ゴミの問題について深く考えることができました。この経験を活かしながら、これからの生活の中で責任をもってゴミの分別をしていきたいと思います。

以上で、トマム学校の発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

OC S 議長（佐々木琉翔君） トマム学校の皆さんありがとうございました。自席にお戻りください。

◎占冠中学校Aグループ

OC S 副議長（藤本このはな君） 占冠中学校Aグループについては、佐々木議長が関係しておりますので、ここからは副議長であるトマム学校9年、藤本このはなが議事進行を務めさせていただきます。よろしくお願ひします。占冠中学校Aグループ発表お願ひします。

まず、村議会議員の下川議員から一言お願ひします。

○村議会議員（下川園子君） 占冠中学校Aグループの応援メッセージを送りたいと思います。私たちAグループでは5名の生徒と大谷副議長、私と7名でグループ討議をさせていただきました。このグループ討議をするにあたり、どの様に進んでいくのかなと思っていたのですが、皆さんこういったグループ討議が慣れていたようで、Aグループでは阿部さんがファシリテーターとして、そして佐々木さんが原稿を担当して、鈴木さんが議事録をとり、蠣崎さんが資料作りを同時に行っていました。八木さんは全体サポートをしてくださいました。こういったグループ討議をす


るときには、なかなか同時進行させていくということができなかつたなど思っているのですが、こういったことができるというのは皆さんICT教育、ICTの授業に慣れているのだなととても感じました。今回、一般廃棄物最終処分場を見学してからの占冠の問題、若しくは自分たちに関わる問題というのを存分に討議できたのではないかと思います。そういったものを資料にまとめていますので、皆さん自信をもって発表していただけると嬉しいです。よろしくお願いします。

OC S 副議長（藤本このはな君） 下川議員ありがとうございました。引き続き占冠中学校Aグループをお願いします。

OC S 議員（阿部彩花君） これからAグループの発表を始めます。

私たちは、ゴミのその先へ、という観点で話し合いを進めました。

OC S 議員（八木翔琉君） 10月17日にゴミ処理場に見学しに行った際に、本来捨てられるべきではないプラスチックゴミが多いことに気が付きました。しっかり分別がされていないとゴミ処理場の使用できる年数が短くなるだけではなく、自然環境にも悪影響が及びます。

OC S 議員（蠣崎蒼空君） 占冠村には、があり多くの外国人観光客が訪れます。外国にはゴミを分別するという概念がなく、分別をせずゴミを捨ててしまうことがあります。これによって占冠村のゴミが増えてしまいます。新型コロナウイルスが流行した令和2年度は占冠村のゴミは大幅に減少しています。これは、外国人観光客が減ったからだと考えられます。しかし、決して外国人が悪いとは言えません。

OC S 議員（鈴木楊生君） そこで、私たちが考えた解決案は多言語に対応したゴミ箱を

設置すること。音声案内の仕組みをすることです。これにより外国人観光客もゴミの分別に協力してくれると考えました。インターネットの情報を見ると占冠村はゴミのリサイクル率が低いということがわかりました。そこで、リサイクル率が日本一の徳島県上勝町を見習って占冠村でも村としてリサイクルに力を入れることが大切だと思いました。また、全国ではフリーマーケットでリユースをしてゴミを減らす運動が進められています。

OC S 議員（佐々木琉翔君） そこで、私たちは駅前の物産館をフリーマーケットの会場等に利用することを提案します。そうすることによって物産館を利用することが可能です。利用することでフリーマーケットをすることにより、本来捨てられる予定だったものがまた使われるようになり、リユースに繋がります。ゴミについて一度家庭で話し合い、家族で考えることが大切だと思います。分別を徹底して使えるものは使えるようにしましょう。

以上で、Aグループの発表を終わります。

OC S 副議長（藤本このはな君） 占冠中学校Aグループの皆さんありがとうございました。自席にお戻りください。

◎占冠中学校Bグループ

OC S 議長（佐々木琉翔君） 藤本副議長、議事進行ありがとうございました。議事進行を議長に戻し会議を続けます。

占冠中学校Bグループをお願いします。

まず、村議会議員の小林議員から一言お願いします。

○村議会議員（小林 潤君） 占中のグループBでございます。発表に先立ち発表する方の緊張を緩やかにするためにエールを送りたいと思います。10月28日に13時35分から15時25分まで、途中10分間の休憩を挟んで、実質

1時間40分ゴミの減量化、分別についてグループワークを行ってきました。前段、児玉議長のゴミの減量化等についてのレクチャーがありました関係ですごく盛り上がり、この1時間40分が足りないほど盛り上がりました。今日の発表は自信をもって行うのに十分な内容となっております。発表者は自信をもってゆっくり話してください。そうすれば十分な内容が伝わります。以上です。頑張ってください。

OC S議長（佐々木琉翔君） 小林議員、ありがとうございます。引き続き占冠中学校Bグループをお願いします。

OC S議員（奥田紗帆君） これからBグループの発表を始めます。

OC S議員（ルックス授那君） 皆さんは、混ぜればゴミ、分別すれば資源という言葉を知っていますか。私たちは先日、最終処分場を見学してきました。そこで思ったことは、匂いがきつかったこと、分別されていないものがあつたこと、山のようにゴミがあつたこと、そして、あと12年も持つのか、という不安も生まれました。

OC S議員（奥田紗帆君） 占冠のゴミの歴史です。30年間で埋まってしまい、今回1度嵩上げをしています。私たちが見学に行ったときは、嵩上げを1回しましたが処分場はあと12年も持つのかという疑問がありました。

OC S議員（ルックス授那君） このような問題の改善方法として、まずはゴミを出さない、減らすことが大切だと思います。難しいことですが村の人、そして世界中の人が意識することによって改善されるのではないのでしょうか。

OC S議員（奥田紗帆君） 問題点の改善方法です。まず、ゴミを出さない減らす、をテーマに一人一人が意識する必要があると思

います。例えば、ゴミを別のものに変える。つまりリサイクルをしたり他のところの取り組みをまねたり、本当にそれが必要かどうか考えて買ったり、占冠でフリーマーケットをする場所をつくる。他の市町村の取り組みを参考にして占冠の現状を改善していく。実際道の駅では、自転車、マウンテンバイクを使いながらゴミを拾うツアーを行う等、ゴミを拾う取り組みをしています。

OC S議員（ルックス授那君） このようなことを一人一人がしていくことでゴミの問題が良い方向に変えられると思います。

OC S議員（奥田紗帆君） これでBグループの発表を終わります。

OC S議長（佐々木琉翔君） 占冠中学校Bグループの皆さんありがとうございます。自席にお戻りください。

◎占冠中学校Cグループ

OC S議長（佐々木琉翔君） 次に占冠中学校Cグループをお願いします。

まず、村議会議員の藤岡議員から一言お願いします。

○村議会議員（藤岡幸次君） 占冠村のゼロカーボンを意識した廃棄物処理について。今回、占中Cグループ、高橋聡美グループリーダーを中心として、石坂佑都君、熊崎莉子君、森田真央君、八木瑛音君、以上の豪華メンバーによる喧々諤々の議論、検討した結果の発表となります。今回オブザーバーとして藤岡、細谷2名の議員が参加させてもらった中で感じたこととして、非常に限られた2時間弱の制限時間の中でグループワークが非常に優れている。メンバー構成も、3年生、2年生、1年生と非常に各段階のメンバーを集めた中で、限られた時間の中でリーダーを中心として良くまとめられたなど、そう感じました。

それでは、いよいよ占冠村ゼロカーボンの未来に向けて、占冠中学校Cグループの発表となります。お楽しみください。

OCS議長（佐々木琉翔君） 藤岡議員ありがとうございます。引き続き占冠中学校Cグループをお願いします。

OCS議員（高橋聡美君） これからCグループの発表を始めます。始めに、私達が伝えたいことは、最終処分場に行って自分たちが思ったより分別ができていないこと、しっかりされていないことです。

OCS議員（八木瑛音君） 具体的には、生ゴミや洗浄されていないゴミの混入、分別が面倒くさいと思う人や、そもそも捨てる日や分別方法がわからない人がいるからです。

OCS議員（森田真央君） 解決策としては、様々な人にわかるようにポスターをつくったり、実際に村のゴミの現状を知ることをできる機会をつくったりすること等が大切だと思います。

OCS議員（熊崎莉子君） 次に [] についてです。皆さん [] のゴミ事情をご存じですか。今、リゾートからは大量のゴミが出ています。もちろんリゾートだけではないのですが、占冠村では去年ゴミが105万8850kg排出されています。なぜこんなに大量にゴミが出ているのでしょうか。私たちが考えた理由はホテルのアメニティにあると思いました。 [] にはホテルが複数存在し、どのホテルも規模が大きいです。全ての部屋にアメニティが置いてあり使い終わるとゴミになってしまいます。

しかし、軽井沢の [] ではアメニティをアメニティ納品会社が回収してリサイクルするという活動を行い、ゴミの排出の低減に成功しています。簡単ではないと思いますが、トナムリゾートもこのような取り組み

を行うべきだと思います。

OCS議員（石坂佑都君） 最後に私が思う占冠村の問題点は、ポイ捨てや不法投棄が増えていることです。今の占冠のスタンスは、ゴミは自分でお持ち帰りください、というのですが、これでは何も知らない観光客がゴミ箱がないということでポイ捨てされてしまう可能性があるということです。せっかくの豊かな自然をゴミで汚されてしまうのはもったいないと思います。そこで、各地にゴミ箱を設置することはどうでしょうか。例えば、道の駅等に一般ゴミやプラスチックゴミ等を分別できるゴミ箱を設置し、外国人でもわかるようにマークや英語表記をつけると良いと思います。以上でCグループの発表を終わります。

OCS議長（佐々木琉翔君） 占冠中学校Cグループの皆さんありがとうございます。自席にお戻りください。

◎占冠中学校Dグループ

OCS議長（佐々木琉翔君） 次に、占冠中学校Dグループをお願いします。

まず、村議会議員の五十嵐議員から一言お願いします。

O村議会議員（五十嵐正雄君） それではDグループの応援メッセージを行います。議員をやっています五十嵐です。どうぞよろしくお願いします。Dグループは脱炭素を中心にしている様々な意見を出し合いながら意見集約を図って問題点の解決等々を見出してきました。Dグループの若い中学生の人たちの考えや意見が村づくりに大きく反映されることを願っています。発表される石塚さん、杉岡さん、そして渡辺さん。大きな声で堂々と発表していただきたいと思います。よろしく願います。頑張ってください。

〇CS議長（佐々木琉翔君） 五十嵐議員ありがとうございました。引き続き占冠中学校Dグループお願いします。

〇CS議員（杉岡那奈君） 私たちのグループは見学して思ったことを基に、問題点、解決策を考えました。

〇CS議員（石塚 葵君） ゴミ処理場の問題点は、まず、ゴミが分別されておらず生ゴミが混ざっているためカラスがたくさん寄ってゴミが散らかされているのと、特にホテルから出るゴミが分別されていないことが問題です。

〇CS議員（渡辺竣介君） その解決策としてリサイクルを基に考えると、使われなくなったものを村の中で回すフリーマーケット。ゴミを新しい物に作り替える。ペットボトルを使わずマイボトルを持ち歩く等があります。

〇CS議員（石塚 葵君） ゴミを減らすためにリンゴの皮等の生ゴミを減らす。ホテルのアメニティを減らす。ほしい人だけ持っていく等が出ました。

〇CS議員（杉岡那奈君） 分別をする面では収集車が分別できていないゴミ袋に警告シールを貼ったり、ゴミ袋をもっていかない等の案が出ました。また、分別できていない場合、連帯責任で住民が罰金を払う。住民や事業者の説明会を開き、分別の方法を説明する等の案が出ました。

〇CS議員（伊達結月君） 私たちは今回の最終処分場見学、グループワークを通して自分たちが知らなかった占冠の姿を知ることができました。今回学んだことを、もう一度よく振り返り、小さなことでも今自分たちが占冠のためにできることを精いっぱいやっていきたいと思います。これで私たちの発表を終わります。

〇CS議長（佐々木琉翔君） 占冠中学校D

グループの皆さん、ありがとうございました。自席にお戻りください。

これでトマム学校占冠中学校、全ての発表が終わりました。

◎特別顧問発言

〇CS議長（佐々木琉翔君） ここで特別顧問より一言発言を求めます。占冠村長田中正治君。

〇占冠村長（田中正治君） コミュニティ・スクール議会に参加され、それぞれのグループワークを通じて、それぞれの考え方、あるいは政策提言、また、自ら取り組みの決意含めて皆さんのご意見をお聞きしていたところでございます。占冠村のゴミ処理について、皆さんが本当に真剣にどう取り組むのかということを考えていただき、提案もしていただきました。本当に貴重なご意見だったかなと思っております。冒頭で、ゼロカーボンシティのお話がありました。ご存じのように、6月16日の6月定例議会で占冠として、ゼロカーボンシティ占冠宣言をいたしました。これは、2050年度までにカーボンニュートラル脱炭素社会ということで、国が目指すことを宣言されまして、全国各地で地域ごとにゼロカーボンシティ宣言をやって、自らがこのカーボンニュートラルの取り組みをして、環境をしっかりと守っていくという宣言に基づいて北海道でも多くの自治体が宣言をいたしまして、上川管内はほとんどの自治体が宣言をしています。占冠村としてこのゼロカーボン占冠アクションという一つの案をまとめたところです。誰もが皆、いつでも努力すればできることをまずやろう、ということで、本日のテーマのゴミ処理に関しても、占冠アクションの中で取りまとめをしております。ゴミ廃棄物、もちろん皆さん言われていた処理場の

取り組みはもちろんですけども、家庭や職場、イベントのゴミ減量に取り組もうということ、あるいは皆さんも言われてますマイバッグ、マイカップ、マイ箸等の使用。あるいは使い捨てプラスチックの使用を減らそう。そういった様々な行動を変えていく努力をしようということです。それから、もう一つが食品ロスの問題ですね。生ゴミのお話が出ておりましたけども、地産地消、地元の食材や旬な食材を食べよう。あるいは適量を注文し食品ロス削減。おいしく残さず食べ切ろうとか、食べられるものは捨てずに工夫して保存しようといった、こういったゼロカーボン占冠アクションというのを、今住民懇談会をやっているのですが、全地区でこういった取り組みをしようということで提案をしています。この他にエネルギーの節約とか移動手段、それから山づくり含めた環境活動等々あるのですが、今日のゴミに関してはそういったことで提案をしているところがございます。そういった意味でこのことをしっかりやる中で、今日皆さんから提案をいただいた中身を村として検討しながら本当に良い方向にもっていければと思っております。皆さんから提案頂いた、プラスチックの分別、あるいはゴミ袋の有料化方法、それから多言語の音声案内、リサイクル率の向上、分別をしっかりとということ、XXXXXXXXXXとの連携、ゴミ処理に対する連携。そういったことを含めて最終的に占中Bグループが言っていました、やはり一人一人の意識改革が必要だろうという提言は正に的を得た提言だと私は感じました。やはり村民一人一人が意識改革をしながら現状を知っていくというのは大事なのだろうと。このデータ的にも調べてみましたら、富良野圏域のゴミの分別収集については広域分担処理ということで、それぞれの自治体に、例えば富良野

市は衛生センターというのがあって汚泥処理とか生ゴミ処理ができるようになってます。それから、上富良野は焼却を担っていますし、中富良野は資源回収センターということでプラスチックペットボトル。南富良野町は動物の焼却。占冠村は埋め立て処理ということで、それぞれ分別処理を行っています。このデータを見ますと占冠だけで見ますと大概多くの方がプラスチックの分別について触れられていました。プラスチックの分別を見たときに、平成23年に1年間で18tの処理実績がありました。これは中富良野町に集まった占冠村分です。それが令和3年を見ますと49t、つまり23年の時はまだまだ分別が十分でなかった18t。それが令和3年には49tまで分別が進んだと。しかし皆さんがおっしゃるとおり、最終処分場にはプラスチックゴミがまだまだあると。これはやはり、まだ分別への意識が十分でないということの証なのかなと思っています。これを、ゴミの原単位というのがありまして、一人当たりのゴミを捨てる量ですね。事業系ゴミについては申し上げませんが、家庭系のゴミ、つまり家庭から出るゴミで占冠村は一人当たり何gのゴミを処理しているのかなということ調べたものですけども、これを見ますと家庭系ゴミで占冠村は1437g。1日1437gですね。隣の南富良野町を見ると793g。大きいところで富良野市を見ますと633g。つまりそれだけリサイクルとか分別をしっかりやれば、富良野市はゴミの中でも先進地域で、資源ゴミの再利用を一生懸命やっていますから、富良野市が633gですから占冠村が1437g。つまり倍以上は占冠村、投げているという結果になるので、やはり今日そういうことで皆さんからご提言頂いたような中身をしっかりと村としてもやることで、これらの環境を変えていくということは村としての努

力をしなくてはならない内容なのかなと思って
おります。本当に昨年に引き続いてこのコ
ミュニティ・スクール議会、皆さんがしっか
り勉強していただいて、グループワークを通
じて自らの取り組む決意も含めてここで発表
されたことは本当に有意義だったなと思っ
ております。

ちょっと話違いますが、10月21日までして
おりましたアスペン市との交換留学ではアス
ペン市の子供たちが皆さんのところにお邪魔
しながらホームステイを引き受けてくださ
った皆さんにも大変感謝をして21日に帰られま
した。受験生の方は1月のアスペン市訪問、
楽しみだと思えますけども、私もそこに途中
からですけども、行く予定をしておりますの
で、ぜひまた国際交流も含めて一生懸命やっ
ていただければなと思っております。何かと
りよめのないお話になってしまいましたけど
も、本日はどうもご苦勞様でした。

◎質 疑

○CS議長（佐々木琉翔君） 田中村長あり
がとうございました。田中村長より発言をい
ただきましたが、CS議会議員の皆様、質問等
ございましたら挙手をお願いします。ルック
ス授那君。

○CS議会議員（ルックス授那君） Bグル
ープのルックス授那です。村長に再度聞きた
いことがあります。ゼロカーボンの取り組み
に関する手ごたえは感じていますか。

○CS議長（佐々木琉翔君） 村長。

○村長（田中正治君） 先ほども少しお話を
させていただいたのですけども、CS議会を開
くにあたって議員の方から言われていたと
おり、ゼロカーボンを意識したテーマにした
ということをお聞きして、やはりこの宣言の
趣旨に沿った形で、少しずつ議会議員始め、

少しずつ村民の皆さんにも理解をしていただ
けると感じたところです。

○CS議長（佐々木琉翔君） 他に質疑はあ
りませんか。阿部彩花君。

○CS議会議員（阿部彩花君） Aグル
ープの阿部彩花です。村長に質問があります。先
ほどお話の中で住民懇談会を行っているとお
っしゃっていたのですが、私自身も隣にいる
奥田紗帆さんも知らないと言っていたので、
そういう活動をしていることを住民に周知す
る方法を改善するときには何か改善案はありま
すか。

○CS議長（佐々木琉翔君） 村長。

○村長（田中正治君） 今回、11月1日
から村内6箇所住民懇談会を始めて、半分終
わっています。この懇談会、毎年やっています
で、一応、広報と行政区回覧で周知をさせて
いただいていますので、その他、ホームページ
等でも見ることができます。そういったこと
で周知をしていて中学生の皆さんも行政に
少し興味を持っていただいて、広報あるいは
ホームページを見ていただければ知る機会
はあるのかなと思いますので一つよろしくお願
いいたします。

○CS議長（佐々木琉翔君） 他に質疑あ
りませんか。下川冬翔君。

○CS議会議員（下川冬翔君） 先ほどゴミ
袋に関して発言させていただきましたが、そ
もそもどのような理由で分別用のゴミ袋を有
料、その他のゴミ袋が無料になったのでしょ
うか。

○CS議長（佐々木琉翔君） 村長。

○村長（田中正治君） 一般ゴミのゴミ袋指
定は白ければあるいは透明な袋であれば買物
袋でも良いですよ、ということでスタートし
ていまして、その他の分別ゴミについてはゴ
ミ袋を作らなければならなかったということ

で、その作る費用を負担してもらおうと。ですから袋代であってゴミによる経費を徴収するものではないですね。スタート時にそういうことでスタートしたものですからそのまま引き継がれたという現状だと思います。

○CS議長（佐々木琉翔君） 他に質疑ありませんか。藤本日々君。

○CS議会議員（藤本日々君） 今回占冠村のゴミについて考えましたが、現在、占冠村が行っているゴミの削減のための具体的な活動は何かありますか。

○CS議長（佐々木琉翔君） 村長。

○村長（田中正治君） ゴミの削減でございますけども、やはり皆さんと同じようなことで、分別をしっかりやる。そのためにしっかり住民の皆さんにも分別の方法とやり方含めてお知らせする努力を続けている。先ほども言いましたけども、一人一人の意識改革というのは大事なんだろうなと思っています。それから話題になっていました[]さんの生ゴミについては収集業者、廃棄物処理業者が、[]分については生ゴミを独自で収集をして処理をしていると、[]の部分は村の収集になっていますけども、事業者とも独自でやれるものについてはやれないかということを含めて、[]との協議の場でご提案をさせていただいております。事業系のゴミも少しずつしっかり分別をして自ら処理をするということも含めて協議をしていきたいなと思っています。

○CS議長（佐々木琉翔君） 他に質疑はありませんか。

質疑なしと認め、次に進みます。

◎講評

○CS議長（佐々木琉翔君） これから占冠村議会議長による講評を行います。占冠村議

会議長、児玉眞澄君。

○議長（児玉眞澄君） 大変すばらしい質疑をいただきました。我々、議会議員の中でもあまり出てこないような意見で村長も多少困ったのではないかなと思ったのですが、大変良い質疑だったと思います。本日の議会皆様大変お疲れさまでした。

それでは、第5回のコミュニティ・スクール議会の全般につきまして、講評というか感想も含めて申し上げたいと思います。

まず、今回の議会におけるテーマ選択であります。ゼロカーボンを意識した廃棄物の処理についてであります。昨年のこのCS議会のテーマはSDGsでありました。この廃棄物、いわゆるゴミの問題もこのSDGsの目標に入っています。ゴール目標12番目、作る責任、使う責任がこれにあたります。皆さんを含め我々が将来に向かって持続可能な社会を維持するためにはゴミを出さないこと、分別すること、あるいは再利用すること等、適切なゴミ処理が必要になっていきます。現在世界では皆さんもテレビ等で見ることもあるかと思いますが、海岸等でのプラゴミの堆積、また、これらによる海洋生物への影響が深刻な問題となっています。これら全ての原因は我々人間のずさんともいえる行為によるものです。こういう姿勢や正しい方法で廃棄されていないから起こることで、こういった問題に今回、皆さんが正面から向き合ったことは非常に有意義なことであると思います。先ほど村長からお話がありましたけども、占冠村は今年2050年までに温室効果ガス実質ゼロを目指すゼロカーボンシティ宣言をしました。この具体的な取り組みとなるのが、占冠アクションといわれているものですが、この中にもゴミの減量と3Rの推進、あるいは食品ロスの問題等が目標として掲げられています。正に今回

のテーマ選択は時代に即したタイムリーな選択であったと評価したいと思っております。

次に発表についてですが、内容についてはただいま村長から感想を含めた答弁がありましたので、私からのコメントは控えますが、議事運営にあたられた議長役の佐々木君、副議長役の藤本君、また事務局長役の石坂君。三役の皆さんによる円滑な議事運営、そして発表に臨まれた皆さんも、なれない議場という場で大変緊張したと思いますが、皆さん落ち着いて堂々と務められました。大変良かったと思います。今回はこの発表に点数をつけての優劣を競うということは致しませんが、サステナブルという言葉、皆様ご存じかと思えます。ゴミの問題を考えるのは今回これだけではありません。毎日排出されるゴミの量が多ければ、皆さんがこの前見た最終処分場はすぐ一杯になります。1年でも2年でも長持ちさせるには住民皆がゴミの発生を抑えて適切な処理をすることが必要と皆さんも今回のこの議会で認識されたことと思えます。これからも日常的に継続してこの問題を考えることが必要だと思いますので是非引き続き取り組んでいただきたいと思います。私からの講評といたします。本日は皆さん大変ご苦労様でした。

〇CS議長（佐々木琉翔君） 児玉議長ありがとうございました。

◎散会宣言

〇CS議長（佐々木琉翔君） 以上をもって、本CS議会に付議された案件は全て終了しました。

CS議会はこれをもって閉会したいと思います。ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

〇CS議長（佐々木琉翔君） 異議なしと認

めます。

したがって、本CS議会はただいまをもちまして閉会することに決定いたしました。

これでCS議会を閉じます。令和4年第5回占冠村コミュニティ・スクール議会を閉会します。

散会 午後3時44分

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

令和4年11月22日

占冠村コミュニティ・スクール議会議長 佐々木 琉 翔

占冠村コミュニティ・スクール議会副議長 藤 本 このはな

(署名議員)

占冠村コミュニティ・スクール議会議員 熊 崎 莉 子

占冠村コミュニティ・スクール議会議員 下 川 冬 翔